

JLEM News Letter Vol.26



第31回日本語教育方法研究会開催

発表 26 件 参加者 80 名

第 32 回は神奈川大学にて

2008年9月20日(土)、第31回日本語教育方法研究会が愛媛大学で開催されました。向井先生の記事にもあるように、直前に台風が愛媛を直撃するというニュースが流れ、開催できるかどうか危ぶまれたのですが、無事開催することができました。発表件数は26件、参加者は80名でした。

実行委員の向井留実子先生、スタッフのみなさま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、前日の9月19日に運営委員会が開かれ、報告・審議がされました。詳細については、このレターの記事をご覧ください。

次回の研究会は、2008年3月21日(土)、神奈川大学において開かれます。詳しい情報については別紙を参照のうえ、みなさまふるってご参加くださいませ。

開催を終えて 向井留実子 (愛媛大学)

2008年9月20日(土)、第31回研究会を愛媛大学で開催いたしました。四国での開催は3年前の徳島大学以来のことです。前日に台風が接近し、果たして開催できるのかと気をもみまし

たが、何とか26件の発表、1件も欠けることなく実施することができ、ほっといたしました。ただ、当日は予想以上に気温が高く、空調のよくない会場で、ご参加いただいた皆様には大層暑い思いをさせていただきました。ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫びいたします。

全国から日本語教育関係者が集まるこのような会は、愛媛では初めてで、地元の関係者や日本語教師を目指す学生達にとっては、大変刺激になったようです。このように、今回の開催は地域の日本語教育の活性化に貢献したといえると思うのですが、それだけでなく、愛媛大学の学内に対してもよいアピールにもなったように思います。学長が開会の挨拶を行ったり、大学から運営補助を受けられたりしたことは、日本語教育に対する学内の認知度を高めるきっかけになったのではないかと感じています。

今回お世話になりました運営委員の皆様、ご参加くださった皆様、ご協力ありがとうございました。私どもにとってこのように意義ある研究会を持つ機会を与えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

参加しての感想

石田 愛
(徳島大学)

この度、愛媛大学で開催されたJLEM第31回研究会に参加させていただきました。

口頭発表とポスター発表での参加ということをお聞きし、発表日が近づくにつれ不安を感じながらも、楽しく準備を進めてまいりました。当日の口頭発表では多くの皆さんの前で発表させていただき、またポスター発表では盛んに質疑応答を交わすことができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。また、発表テーマに関する他校での現状等を教えていただく機会にもなりました。

今回の経験を今後の研究活動に活かしていこうと思っております。このような有意義な機会を与えていただいたことに心より感謝いたします。

次回開催にあたって

富谷玲子
(神奈川大学)

2009年3月21日(土)開催のJLEMを、神奈川大学で担当することになりました。このような大役をお引き受けした経験もなくはなはだ心細いのですが、運営委員のみなさまのお力をお借りしつつ実りのある会となるよう努めたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

神奈川県は地域日本語教育が非常に盛んな土地柄で、横浜市内だけでも60以上の市民団体が日本語教室や母語教室を開催しています。県内の大学の多くに日本語教育関連の科目が設置されていますし、学生によるボランティア活動も盛んです。JLEMの研究会の開催により、地域の関心がさらに高まることを期待しております。

神奈川大学は横浜駅と新横浜駅の中間地点に位置しています。大学の最寄り駅の白楽からは、横浜の観光名所、みなとみらい、馬車道、中華街、元町まで、10分程度で行くことができます。研究会のあとには、ぜひ横浜の港の風景と味をご堪能ください。みなさまのお越しを心から楽しみにしております。

運営委員会報告

第31回大会前日の9月19日18時より、愛媛大学職員会館にて運営委員会を行いました。主な審議内容は以下のとおりです（*印は解説です）。このニューズレターのほかの記事と重複する点があるかと思いますが、その点ご勘弁ください。

(1) 年度途中での退会者の会費の扱いについて

半年分を返却する、というような扱いはしない。会計年度が1月から12月であることの周知を徹底する。

*大会（研究会）が3月と9月に行われているので、会計年度についても勘違いしている方が大勢いらっしゃるようですが、正しい会計年度は、みなさまご承知のとおり1月から12月です。年度の途中、たとえば4月などは、異動

の月なので、退会を申し出る方が比較的多いのですが、4月に退会されても、その年度の会費は返却しないことを確認しました。

(2) 除名会員の再入会時の会費の扱いについて

2年間会費滞納で除名になった会員が再入会する場合には、未納分と新規会費合わせて、9000円を徴収する。

*これも事務的な確認事項です。これにより、除名した会員については普通の退会者とは別のリスト管理が必要になり、会員担当の事務はちょっとワークロードが増えるのですが、このような方針に決めました。

(3) 二重投稿防止策について

今回から、発表募集要項に「未発表のものに限る」と明記することにした。

*半年以上前に、他学会で発表した内容ですが、JLEMで発表できずか、というお問い合わせがあったので、びっくりしましたので、このような確認をいたしました。他学会に応募中のものについても、ご遠慮いただくことにしました。

(3) 会誌バックナンバーの電子化について

電子化作業推進のため、事務局でアルバイトを雇って、過去の会誌原稿執筆者から許諾をいただく作業を開始する。

(4) 次期会長および事務局の選任について

運営委員会内部に選考委員会を作り、選考委員が運営委員会にかけられる候補者を指名することとした。

*現在の会長と事務局は、2010年3月をもって任期が満了します。現在2期目を務めていますので、JLEMの規約によって、こ

れ以上の再任はできないことになっています。

今回の運営委員会で、立候補するような奇特な方はありませんでしたので、選考委員会を作ることになりました。

会長職に興味がある、あるいは事務局を引き受けたい、というようなご希望がありましたら、才田または名嶋事務局長までご一報ください。

(6) 今後の開催予定について

2009年3月21日（土）

神奈川大学 白楽キャンパス

2009年9月 弘前大学

2010年3月

東京農工大学 小金井キャンパス

2010年9月 金城学院大学（予定）

（文責：才田いずみ）

事務局よりご連絡

●会誌の電子化について

会誌の電子化作業（PDF ファイルをCD-ROMに保存）を進めております。過去の発表者の皆様には別途「電子化承諾の可否」をお伺いし、承諾していただける方には「承諾書」を提出していただく予定でおります。また前回研究会時から、特にお申し出のない限り発表申込と同時に電子化の承諾をしていただいたものとしてお取り扱いしております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

●会誌バックナンバーの在庫

会誌のバックナンバーを販売しております。一冊700円（プラス送料実費）です。購入ご希望の方は事務局までご連絡ください。在庫はホームページに掲載しております。

（事務局 名嶋義直）

会誌バックナンバーを 販売します

バックナンバーを販売しております。会誌は1冊700円、10周年記念論文集は1冊2,000円です(別途送料がかかります)。申込は事務局までメールでお知らせ下さい。在庫確認後、金額をお知らせいたしますので、会費納入口座にお振り込みください。振り込み手数料はご負担ください。お振り込み確認後、発送いたします。

2008年12月1日現在の在庫は以下の通りです。お知らせいたしておりますように、バックナンバーの電子化を進めております。それに伴い今後在庫の大きな変動も予想されます。紙冊子をご希望の方はぜひ今のうちにお求めください。

冊子の巻号	数量
2巻1号	70部
2巻2号	36部
4巻1号	1部
4巻2号	48部
5巻1号	71部
5巻2号	65部
6巻2号	73部
7巻1号	30部
7巻2号	242部
8巻1号	64部
8巻2号	46部
9巻1号	224部
10巻1号	180部
10巻2号	50部
11巻1号	92部

11巻2号	11部
12巻1号	43部
12巻2号	66部
13巻1号	7部
13巻2号	30部
14巻1号	21部
14巻2号	25部
15巻1号	40部
15巻2号	53部
10周年記念論文集	27部

運営委員を募集しています

運営委員の交代は運営委員会・総会でも議論されているところですが、会を支えてくださる方を引き続き広く募集しております。

運営委員会報告にもありましたように、2010年3月で現在の会長と事務局が変わることになっております。

我こそはと思われる方、お気軽に事務局までご一報くださいませ。どうぞよろしくお願いいたします。

の会費をお支払いいただいている方も納入をお願いいたします。

運営委員会報告(1)にもありますように、会計年度は1月から12月までとなっております。また、会費を納めた年は送付物の宛名ラベルの下に印刷してあります。会費を2年間未納の場合は自動的に除名となりますが、除名後に再入会なさる場合には過去の未納分をお支払いいただきました上での手続きとなりますので、何卒よろしく願いいたします。

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者：日本語教育方法研究会

* ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。氏名を先に後入力ください。印字の都合上、ご所属のみしか届かず、お名前が判明できない場合があります。

会費は3000円です。

2年間未納の場合は自動的に除名となります。

問い合わせ先：jlem#sal.tohoku.ac.jp

(#は@に変えてください)

発行：日本語教育方法研究会

ホームページアドレス：

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jlem/index.html>

メールアドレス：

jlem#sal.tohoku.ac.jp

会費納入について

会費の納入をお願いいたします。過去